

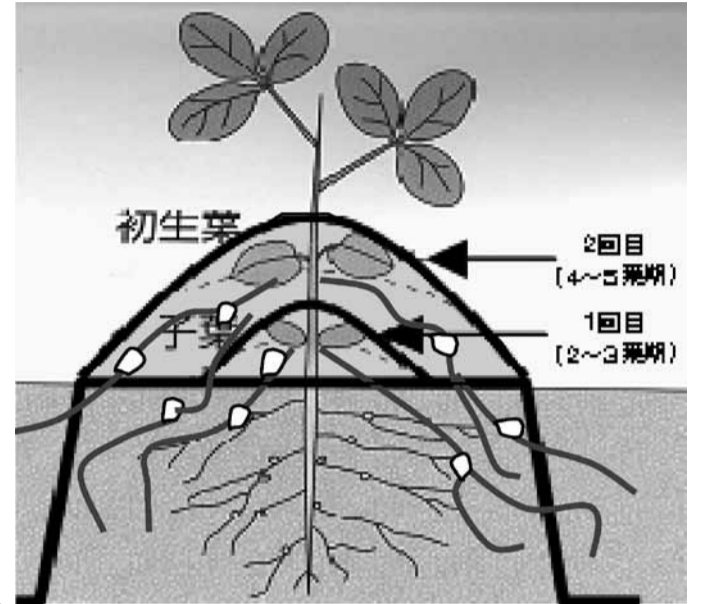
目指そう！単収 200kg！合格以上比率 90%以上

大豆管理情報

いなば農業技術者協議会
 事務局 TEL67-8000 【JAいなば営農生産課】
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
 【高岡農林振興センター】26-8480

大豆の収量は開花期(7月15日頃)までの生育量で決まります。培土で根量が増えるので、なるべく早めの培土を心がけましょう。

大麦跡大豆については、晴れ間をみてなるべく早く播種しましょう。播種量は10aあたり5.6~6.2kgとし、苗立本数(16,000~18,000本/10a程度)の確保に努めましょう。



1. 適期培土 ~降雨の晴れ間を効果的に活用~

- 1回目 2~3葉期に子葉が埋まる程度 (播種後20日頃)
- 2回目 4~5葉期に初生葉が埋まる程度 (播種後30日頃)

1回目培土やっていますか？
 播種の早いところは2回目培土時期です！

培土の注意点

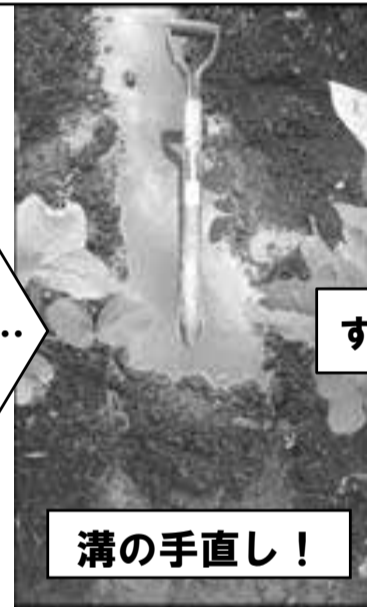
① 土が乾いている時に行うと増収効果が高い

② 培土後は必ず溝を連結



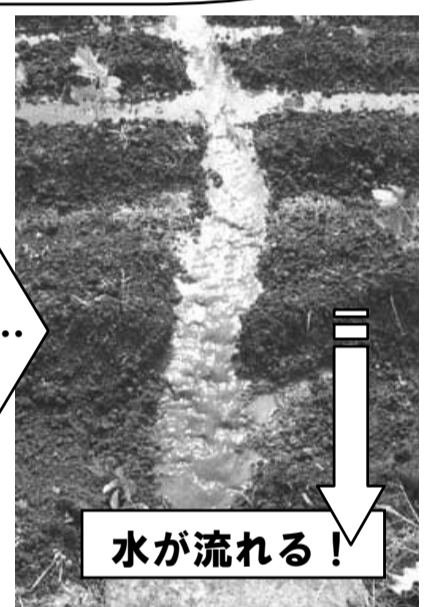
排水溝の手直しをしていないと、畦間に水が溜まる！
 溝を連結して、圃場の排水性を高めましょう！
 開花後の畦間かん水にも溝連結は重要！

そこで...



溝の手直し！

すると...



水が流れる！

2. 雑草防除

薬剤名	適用雑草	使用時期	10aあたり使用量	総使用回数	使用方法	注意事項
ポルトフロアブル	イネ科雑草のみ(3~8葉期)	収穫30日前まで(7月末頃まで)	薬剤 200~300ml (水 100L)	1回	雑草茎葉散布	散布ノズルは噴霧状になるものを使用する。
バスタ液剤(畦間散布)	すべての畑地1年生雑草	収穫28日前まで(8月末頃まで)	薬剤 300~500ml (水 100~150L)	3回以内	雑草茎葉散布	畦間処理を行い大豆にかからないよう注意する。
ロックス水和剤(畦間・株間散布)	1年生雑草	本葉3葉期以降雑草生育期草丈(15cm以下)但し、収穫30日前まで	薬剤 100~200g (水 70~150L)	1回	雑草茎葉兼土壤散布	畦間・株間処理に使用する場合、専用ノズルを使用する。また噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布する。

※ その他の除草剤については、JAいなば営農指導員にご相談ください。

※ 農薬は使用前に薬剤と使用上の注意を確認し正しく使いましょう。

3. 病害虫防除(随時防除)

薬剤名	対象病害虫名	使用時期(収穫前日数)	10aあたり使用量	総使用回数	注意事項
トレボン粉剤DL トレボン乳剤	アブラムシ類	7月下旬~8月下旬(収穫14日前まで)	4kg 150ml/水150ℓ	2回以内	吸汁による葉の黄色斑点・虫を確認し、被害が拡大するようなら株元まで十分薬剤がかかるよう早めに防除する。
サイアノックス粉剤	ウコンノメイガ	7月下旬~8月上旬(収穫7日前まで)	4kg	2回以内	葉巻が見え始めたら防除を行う。

※ 農薬は使用前に薬剤と使用上の注意を確認し正しく使いましょう。